

シグマ研究委員会第4回拡大幹事会

日時 昭和46年9月21日 13:00~17:30

場所 貿易センタービル 学際サロン会議室

出席者 百田, 中島, 塚田, 坂田, 桂木, 西村

議題

1. 4年報の検討

シグマ研究・専門委員会の4年報の原稿ができ上がったので、これをもとにして加筆、訂正などの意見が出された。

2. 日米科学委員会について

同上委員会のデータセミナーについて、科学技術庁計画局から参加するかしないかの問合せがあった。資料にもとづいて討議したが、米国側が核データの部門に参加しないことが明らかになったので日本側もおりることになった。

3. BNLの帰朝報告

8月末塚田委員がBNLを訪門した際の、日米協力についてのその後の話があった。全般的に、これまでのNNCSCの考え方に対してAECは慎重な態度をとっているようである。ENDF/B-3は12月頃でき上げる予定である。

4. EANDC第15回会議の準備

Preliminary Agendaについて説明があり、提案された修正 Terms of Reference (委任事項)の原案(Havensから送られてきたもの)が配布された。

5. 原子核の統計的性質に関する国際会議の報告

資料にもとづいて会議報告が塚田委員から行なわれた。

6. 評価ずみ各データの処理および選択コードの作成ワーキンググループの説明

第1回、第2回の議事録にもとづいて説明が行なわれた。これに関連して、

核データ専門部会内の評価ファイルづくりワーキンググループとの関係が討議された。次回運営委員会に、ファイルづくりワーキンググループの方針を提出することになった。また来年4月以降の所内ワーキンググループの具体的方針についても関係者で討議し案をつめることになった。

7. その他

今回は11月上旬に運営委員会を開く予定。また本年度研究会を開くならば、それまでに研究会のテーマなどについても具体案をつくる様、関係者が相談することになった。